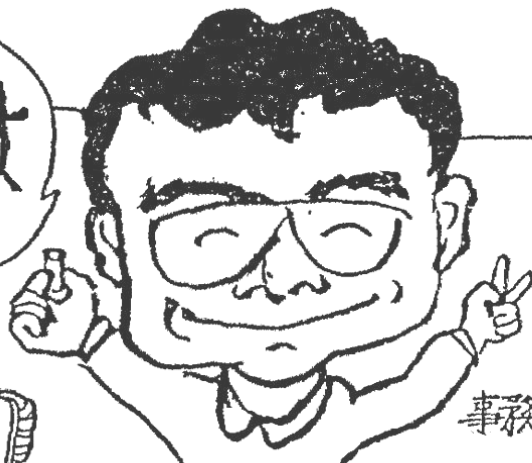


こんにちは

日本共産党
県議会活動報告
週刊ニュース

2014年11月16日 NO.824

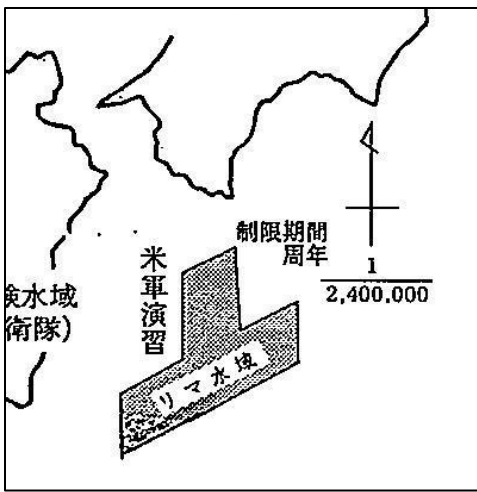


さら とみ ひこ

吉良富彦 です

事務所 吉良富彦事務所 855-9439 愛宕商店街
議会控室 823-9524 県議会内

リマ海域撤去を 県漁業協同組合と懇談



●土佐沖に「リマ」という広大な米軍と自衛隊の演習区域がある。空域と海域があり、海域は土佐清水沖約

70 kmにあり底辺約 150 km凸形で、月～金曜日通告なく米軍、自衛隊が計 200 日以上、空、海面、海中での演習が実施されている。海域一帯はカツオ、マグロ、金目などの好漁場で、漁業者は一貫してリマ海域の撤廃を求めている。

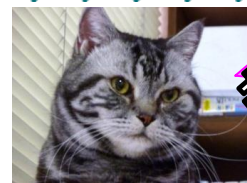
近くの漁場を返せ ●11月5日、 キンメ漁獲補償を 私ども高知県議団の米田と

吉良、国会議員団四国ブロックの笹岡、和田、徳弘の5名は、県漁協の皆さんと懇談を行い、リマ海域の撤去と漁業補償について問題点を確認。海域は公海上であるが実態は防衛施設だ、と防衛庁と米軍は撤去しません。しかし、排他的経済水域なので周辺漁獲量に対し 80%の漁業補償を行うと約束が、年々減り 30%だと。県漁協は毎年、国に4点の要求（1、漁場喪失による漁獲減少、2、演習爆音による魚道攪乱・魚群散逸、3、迂回航行による経費増（経済的・時間的・労働的負担）4、漁民の精神的・不安と生産意欲減退に伴う損失）。そして「新たな魚種（キンメ）漁獲は認めず、高騰する油代も出さないなら、我々の近くの漁場を返せ」と国に迫っている。私たちが力を合わせていきます。

私の様な者をパネラー演出して下さった両先生のご厚意に改めて感謝申し上げます。●18日から中西繁先生が天野寛子先生の刺繍画展と「高知美術研究会・中西繁展」同時開催のため来高します。21日はお二人を囲むおきやく、22日は「時の行路」高知上映推進のおきやくが催されます。ご参加下さい（写真左端作家・田島一さん、右端娘・吉良よしこ参議員）



葉に冷や汗です。た。」とお褒め言時でもありまし二人の姿に接しながらの楽しいひとね」と、語り合いました。あっという間に終わりました。『この親にしてこの子あり』を思わせるおぞ熱血先生だったのでしょ



野ウリンにやんでも通信

●小説「時の行路」の著者で日本民主主義文学会会長の田島一さんから、お礼のお葉書が届きました。「日々奮闘されている様子が手に取るように分かる発言が印象に残りました。中西さんと（注※挿絵をお描きになった画家の中西繁さん）と後で「さぞ熱血先生だったのでしょね」と、語り合いました。あっという間に終わりましたが、『この親にしてこの子あり』を思わせるおぞ熱血先生だったのでしょ